

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日:2008年 04月 25日

<p>テーマ名</p>	<p>『情報システムの信頼性向上に関するガイドライン』の「ITCが現場で活用出来る実務手引き書」の作成</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>無し</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号:03-5166-2556 e-mail:m.furukawa@scs.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>経済産業省が平成18年6月に「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン」(以下、信頼性ガイドラインという)を公表致しました。 公表するに当たって、「経済産業省では、情報システム障害の社会的影響が日々、深刻化してきていることを受け、「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン」の検討を行ってきました。この度、案に対するパブリックコメントの結果を踏まえ、同ガイドラインを策定いたしましたのでその内容を公表いたします。」と、その趣旨を簡潔に述べています。 特に注目したいのが、社会的に影響が大きい情報システムの障害とその対策に苦慮している点であり、経済的損失への予防手段を講じる必要性に迫られていることを感じます。また、「ITコーディネータプロセスガイドライン」と同様に経営者の参画、責任の重要性が明確に示されており、その活用における期待も大きいものがあります。 しかしながら、上記ガイドラインは多分に「在るべき論」的な内容であり、ITコーディネータが直ちに行動に移すにはやや理解しがたい内容となっているとも感じられます。 そこで我々ITガバナンス研究会は、上記のような課題認識に基づいて、ITコーディネータの視点から執筆者各自が蓄積してきた技術や見識をもとに、「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン」を理解するうえでより噛み砕く必要があると考えられる部分について解説を試み、他のITコーディネータへの参考書的な役割を果たすことを目的として、「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン解説書」を作成しました。現時点では全ての項目を網羅しているのではないことをお断りしますが、ひとつの読み物として繋がるよう集約しています。 読者にとって、「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン」をより深く理解し実務に活用する上での参考になれば幸いです。</p>	
<p>成果物</p>	<p>ITCプロセスにおける情報システムの信頼性向上へのアプローチ ～「情報システムの信頼性向上に関するガイドライン」の超やさしい解説書～ の作成(全120ページ)</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2008/4/25</p>
<p>案件番号</p>	<p>S07002</p>